

泉大津市行政評価委員会 「平成 27 年度泉大津市外部評価」実施要領

1 趣旨

外部の多角的な視点による議論・評価を通じて、質の高い行政サービスの提供や業務の一層の効率化を図るとともに、公開の場における議論・評価を通じて、市政の透明化及び市の説明責任の履行を図ることを目的に、泉大津市行政評価委員会「平成 27 年度泉大津市外部評価」を実施するに当たって必要な事項を定める。

2 対象事業の選定基準

外部評価の対象とする事業は、平成 26 年度に本市が実施したすべての事業（別途評価制度を運用している病院事業を除く。）のうち、原則として次に掲げる 2 つの観点から外部評価に相応しいと考えられるものを選定する。

- ① 原課による自己評価について、外部の視点からの議論・検討の余地があると考えられる事業
- ② 事業内容、手法、費用対効果等の点で改善の余地があり、外部の視点からの議論・検討が有意義であると考えられる事業

3 実施方法

(1) 実施日時及び会場

平成 27 年 8 月 25 日（火） 13 時 00 分～17 時 30 分
泉大津市役所 職員会館 3 階 集会室

(2) 対象事業

外部評価の対象事業は、次の 5 事業とする。

事業名	担当課
広聴活動事業	秘書広報課
市民協働推進事業	人権市民協働課
金婚祝賀事業	高齢介護課
まちづくり事務所維持管理事業	まちづくり政策課
レジ袋削減推進事業	環境課

(3) 評価者

下記委員により構成される泉大津市行政評価委員会が外部評価を行う。

役割	氏名	所属
委員長	鶴坂 貴恵	摂南大学経営学部教授
副委員長	森本 和義	羽衣国際大学現代社会学部教授
委員	黒田 隆之	桃山学院大学社会学部准教授
委員	溝口 和彦	行政経験者（泉大津市民）
委員	田川 静一	行政経験者（泉大津市民）

(4) 評価の進め方

外部評価の進め方は、次のとおりとする。

- ① 1事業あたりの所要時間は、概ね45分とする。
- ② まず、事業担当課職員が、事務事業シートや参考資料に基づき、事業の概要等について、簡潔に説明する。(10分)
- ③ 次に、各委員から事業担当課職員に対する質疑応答を行い、事業のあり方や改善方策等について議論を行う。(30分)
- ④ 委員長は、質疑応答・議論及び各委員による評価の集計結果を踏まえ、委員会としての評価結果を示す。(5分)

(5) 評価結果の区分・内容

区分	内容
A 現行どおり	大きな見直し点はなく、現行どおり継続することが望ましい。
B 要改善	事業は継続するが、事業の実施手法等に改善すべき点がある。
C 縮小	事業は継続するが、規模や対象等を縮小することが望ましい。
D 休止・廃止	事業の休止、廃止が望ましい。

(6) 当日の流れ

時間	番号	事業等	担当部署
12:45	—	開場	
13:00	—	開会	
13:00~13:03	—	副市長あいさつ	
13:03~13:13	—	事務局概要説明	
13:13~13:15	—	委員長あいさつ	
13:15~14:00	1	広聴活動事業	秘書広報課
14:05~14:50	2	市民協働推進事業	人権市民協働課
14:50~15:00	—	休憩	
15:00~15:45	3	金婚祝賀事業	高齢介護課
15:50~16:35	4	レジ袋削減推進事業	環境課
16:40~17:25	5	まちづくり事務所維持管理事業	まちづくり政策課
17:25~17:30	—	委員長評価・講評	
17:30	—	閉会	

4 評価結果の公表、活用

評価結果についてはホームページで公表するとともに、評価結果や意見を踏まえ、事業担当課において今後の事業内容や手法の見直しに活用する。